

令和4年度新中学校1年生保護者説明会開催結果概要

日 時 令和4年1月21日（金）午後7時00分～7時45分
場 所 結とぴあ 多目的ホール
出席者 新陽明中学校区保護者 3名、各小中学校長、教頭、教職員
教育長、教育委員会事務局長、教育総務課長、学校教育審議監
教育総務課職員3名

顛 末

- ①教育長あいさつ
- ②中学校再編についての説明（資料に基づき説明）
- ③参加者からの事前質問への説明

市教委 通学方法等について、尚徳中学校と和泉中学校の生徒はスクールバスに乘車し、登校と下校をしていただくということを考えている。ただ、実際のルートや乗車場所、乗車時間などについては、再編の準備委員会で、まず教育委員会としての案を示し、いろいろなご意見をいただいた上で、最終的に決定をさせていただきたいと考えている。

体操服などの学用品については、保護者の負担を軽減するための補助という観点で申し上げたいと思うが、平成16年4月に策定された小中学校再編計画に基づいて実施された再編の中では、まだ大野市は小学校の再編しか経験がないという状況である。これまで行ってきた小学校の再編のケースで申し上げますと、1年生はどこの学校に入学しても、一から準備していただくことになるので、補助では対象外になる。再編した年に2年生になる児童と6年生になる児童は全額補助、3～5年生になる児童の分は半額補助という形になっている。なぜかという、2年生は再編する前の学校の体操服などを1年しか着用していないということである。逆に6年生は再編した後の学校の体操服などを1年しか着用していないということで、両方とも1年しか使っていない期間があるということで、全額補助となっている。3～5年生については、少なくとも2年以上は着用しているので、半額補助ということで、補助をさせていただいていた。

今回、この小学校のケースを中学校に当てはめるとなると、1年生は補助対象外ということになるが、2年生は再編前の学校の体操服等を、1年しか着用していないこと、3年生は、再編後の学校の体操服等を、1年しか着用しないということで、両方全額補助するという考え方になると考えている。この辺についても、再編準備委員会でお示しをさせていただきたいと考えている。

市教委 制服や体操服について、これを機に市全体で揃えたらどうかというご意見もあった。これについては、基本的には学校ごとに決めることになると思っている。学校長が一人で判断するのではなく、PTAで保護者の方も交えて、協議

を進めていくことになると考えている。それを基本として、例えば2つの準備委員会の中で揃えてみたらどうだろうかというお話もあるのではないかと思う。

クラス替えについてのご質問をいただいた。先ほどの基本的な考え方の中の新生という考えに基づき、3年生でクラス替えを行い、新しい学級で新しい仲間と新しい絆作りを行っていきたいと考えている。

3年生で再編するので、受験が大きく心配されることの一つになるのではないかと思うが、来年度から5つの中学校が合同で、教科担任がカリキュラムの編成や教材の選択、評価の方法などを協議して、再編された3年生のときに、学習の遅れや未履修がないようにしていく。早速来年度から始まる。これは、校長会との協議の中で、来年度から進めていくことになっているので、安心していただきたい。

新たな環境の変化の中で、友人関係が心配だという声もあった。しかし、今の子どもたちは、部活動や習い事を通して、校内に留まらない広い交友関係を持っているのではないかと思う。大人が心配するよりも、子どもたちはすぐに仲良くなるし、環境の変化にも付いていけるのではないかと考えている。

入学時から再編先への入学は可能かというご質問もあった。来年1年生になるときに、3年生で再編されるので1年生のときからということだと思う。これも先ほどの基本的な考え方の中でお示しさせていただいたが、令和5年度末まで、自分の学校の歴史や伝統、文化を大切にしてほしいということを優先したいと思っている。最後に自分の学校に対して、愛着と誇りを持って、しっかりと学校を閉じれるようにしていきたいと思う。そういう生徒作りというのも大事なのではないかと考えている。

④質疑応答

参加者 現在、陽明中学校の部活動についてお伺いしたいが、全員部活動に加入しなくてはいけないことになっているのか。帰宅部でも良いのかなど教えていただきたい。

陽明中教頭 現在、陽明中学校では、12の部活動が活動している。それ以外に、校外でクラブ活動のように、専門の指導者のもとで活動している子たちも、部活動として認めている。それを含めて、全員が何らかの部活動やクラブ活動に参加しているという状況である。帰宅部として帰るという子は基本的にいない。部活動に入りましょうという風に学校で指導している。

参加者 校外の活動も含めて、何らかの部活に参加しましょうということで、帰宅部でも大丈夫ということではないということか。

陽明中教頭 今現在は、そういう風にはしてない。

参加者 和泉なので、スクールバスが非常に心配である。これから準備委員会で多分協議していくのだろうとは思いますが、1台で和泉から尚徳のエリアを経由して運

行するのか、もしくは和泉単独で運行するのかなど、その辺の経路についての基本的な考え方を教えていただくとありがたいと思う。

市教委 経路については、準備委員会で決定していくことになると思うが、まずは教育委員会で、案を示させていただきたいと思っている。特に帰りは、開成中学校や陽明中学校の運動部は、敷地内の体育館でいくつもの部活動ができないので、他の体育施設を借りて活動している。そうすると、どこでスクールバスを乗車するのか、どこかに集合場所を決めるのかなど、十分検討させていただいて、無理なく生徒が帰れるようにしたいと考えている。

参加者 ある程度、部活の時間を合わせるなどして、出発の時間などは対応していくという見解でよろしいか。

市教委 今の時期だと、暗くなるのが早いので、部活動の活動時間は短くなるかもしれない。生徒の安全面を考えて、夏季の明るい時期よりも、短い時間での活動になってくると思っている。

市教委 スクールバスだが、開成の状況を聞いて欲しいと思う。小山地区の生徒は、12月から春にかけての冬季だけ、スクールバスで登下校をすることを基本としている。

尚徳中教頭 (この日は新陽明中学校区の説明会であり、開成中学校関係者は不在であったため、直近に開成中学校に勤務経験のあった尚徳中教頭が代弁した)

開成中学校の部活動はその時期に応じて、6時や5時半に終わり、スクールバスの利用者は、10分後には乗車して、下校することになっている。今はないが、もし部活動の延長があるときには、事前に保護者に連絡をして、スクールバスの利用をしないということもあった。朝に関しては、小山小学校区の子は黒谷地区の方を回って下車していくような形である。スクールバスを利用する生徒のことを考慮して、部活や生活が回っているような形だった。

参加者 多分そういう回答になるのだろうとは思ってはいる。ただ、部活動が延長になって、親に迎えに来てほしいと言われても、ご存知のとおり、和泉からは1時間はかかるので、なかなか対応ができない可能性があると思う。早めに部活を切り上げて自分の子だけ帰るなど、そういった形になるだろうと思っている。

他の学校生活については、何ら心配していない。子どもなので柔軟に慣れていくと思うし、それを学校側も十分サポートいただけているので、そこはそんなに心配してないが、行き帰りのことだけが一番心配である。和泉から迎えに来てほしいと言われても、なかなか難しいというところだけ今のうちにお伝えしたいと思っている。

市教委 登下校が遠距離ということで、とてもご心配だと思う。当然学校も、教育委員会もしっかり考えさせていただく。ルートをどうするかということも安全安心第一で考えさせていただく。

私はこの冬のうちに、和泉の子どもたちがスクールバスで通っている路線に、一度乗車する。去年はコロナの関係で行けなかったが、一昨年度、局長と2人で、2路線に乗車した。今年は、上大納への路線に乗車させていただき、実際の冬の登下校を自分で体感した上で、しっかり考えさせていただきたいと思う。またご相談させていただくので、よろしく願いしたい。

参加者 8時くらいに学校は始まるのか。

陽明中教頭 今1年間通して、時刻は変わらない。生徒は7時50分から8時5分の間に登校となっている。

市教委 以前は、生徒が来るのが早かった。しかし、今の登校時刻であっても、朝の学習に間に合うということで、大野市内の学校は、以前よりも登校の時間を遅らせている。

⑤閉会のあいさつ（事務局長）